

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第145号	氏名	谷川 和好
学位審査委員	主査	澄川 耕二	
	副査	相川 忠臣	
	副査	永安 武	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、大動脈弁置換術における最少サイズの人工生体弁の有効性を比較検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 手術後5年間にわたって、大動脈弁機能と心機能を追跡し、適切な統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、狭小大動脈弁輪症例に対して、最小サイズの人工生体弁を適用しても置換術の効果は得られることを明らかにしたもので、臨床上有益な知見である。</p>			
<p>以上のように本論文は心臓血管外科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			